

保育士

君津児童相談所



鈴木 駿也

Suzuki Shunya

平成28年度
採用

異動経歴

H28年採用 富浦学園
R4年 君津児童相談所



Q1 あなたが採用された職種の魅力について教えてください。

保育士には保育園の先生といったイメージを持つ方も多いと思いますが、千葉県の保育士は、保護者の病気や虐待等の理由により、家庭での生活ができない児童と関わる仕事をしています。その中には、大人との関わりが苦手な児童もいます。児童相談所などでの業務を通じて、そのような児童と心を通わせるための仕事ができることに魅力を感じています。また、異動により様々な仕事を学ぶことができることも魅力です。

Q2 仕事の内容とやりがいを感じる瞬間について教えてください。

虐待等で児童相談所が保護した児童を一時的に預かり、家庭復帰又は児童養護施設等に入所するまでの生活支援を行っています。保育園等と比較すると児童個人と関わる期間は短いですが、その期間の中でも保護前より笑顔が増えたり、発言が増えたりする姿を見ると、大人が正しい関わりを持つことで児童の本来の姿を引き出せることを実感しますし、その瞬間にやりがいを感じます。

退所時は寂しさもありますが、本来の生活ができていることを聞くと安心できます。

Q3 千葉県を選んだ理由を教えてください。

千葉県の保育士は児童養護施設、児童相談所、児童自立支援施設などに配属されます。私は県唯一の県立児童養護施設である富浦学園での仕事を希望して受験しました。短大時代に児童養護施設を知り、実習の際に受け入れてくれたのが富浦学園でした。そこで関わった児童に「先生、ここに就職して」と言ってもらえたことが希望したきっかけです。また、給与面や福利厚生も大切なポイントです。

Q4 職場の雰囲気について教えてください。

年齢層が若く、フレッシュなパワーがみなぎっており、バランスの取れた構成の職場です。意見が出しやすく、会議でも活発に発言があります。児童のために頑張っている若い方が多く、中堅に当たる私たち世代も良い影響を受け、業務に向き合っています。相談がしやすい環境は若手、ベテラン共々成長ができると思います。

Q5 仕事をする上で心掛けていることを教えてください。

職員同士の連携です。児童らが困らないように細かい生活の様子を職員間で共有しています。特に体調変化や外傷の有無の共有は大切にしています。また、一時保護課の職員だけでなく、児童福祉司との連携も密にし、一時保護されている児童の観察をしています。

Q6 仕事の中で難しく感じていることや苦勞したこと、大変だったことを教えてください。

児童との関わりです。様々な境遇を経験した児童は思いもよらない反応をしたり、態度に出したりします。原因は様々で、前例があったとしても個人で感情の出し方は異なります。威圧的な態度をとる児童もいるため、関わり方は常に試行錯誤しています。

また、富浦学園はスポーツが盛んな施設であったため、運動が苦手な私は馴染むのに時間が掛かりました。今ではその経験があってマラソンや登山が好きになり、児童らにもスポーツの大切さが伝えられるようになりました。

Q7 あなたの考える千葉県の魅力を教えてください。

海に囲まれ、都心からも近くレジャー施設も豊富であることです。福祉に関しても力を入れているため、年々変化を感じられています。

Q8 休日や退庁後の余暇の過ごし方について教えてください。

児童相談所職員は年々増えています。そのため週休はもちろん、年次休暇等の振り分けもしっかりされているため、プライベートの時間が確保できます。私の趣味はドライブメインの旅行、キャンプです。連休を取れることも多いので時間にゆとりを持って休日を満喫できます。

Q9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

休日等を利用し、様々な資格を取得してみたいです。また、入庁当初から日本一周を夢見ているので、いつか叶えたいとも思っています。

Q10 受験者へのメッセージをお願いします。

児童福祉に携わる県職員の敷居を高く感じていましたが、様々な経験を持つ同期と出会い、志望のきっかけは色々あると気付きました。やってみたいと思ったら実行してみてください！

ある一日の流れをピックアップ

8:30

出勤、夜勤者からの引継ぎ

9:00

朝の会、学習指導開始

12:00

昼食

13:00

昼の会（夜勤者出勤）、施設内清掃、衣類整理

14:00

児童の自由時間、入浴介助

16:00

記録作成、引継資料作成、明日の準備

17:15

退庁

翌日が休日の場合はそのまま旅へ出発

